

平成 30 度事業報告

(自平成 30 年 4 月 1 日、至平成 31 年 3 月 31 日)

認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

1 事業の成果

自立援助ホーム「星の家」は、30 年度を通しての平均入居者数は月当たり 5.8 人であった。年度内の新たな入居者は 3 名であり、実質 9 名に対して必要な支援を行った。そのうち 4 名が家庭に戻ったり、就職やアパートを借りて自立していった。中卒後就労経験を経ずに 15、16 歳で入居するもの、他の都県からの割愛で入居したものが目立った。就労が継続している者が少なかった。また、29 年度、OG が子連れで駆け込んできてそのまま居候になったが、30 年度も引き続き居候として支援を継続した。

近年、社会的養護の経験がないまま、また就労経験を経ずに入居に至る者が大半を占めるようになっている。彼らは不適切な養育環境に長くありながら社会的養護の網から零れ落ち、重篤な虐待等家族関係の不調をベースに犯罪に巻き込まれたり精神疾患を有していたりしている。目的意識のないまま入居してくる子が増えており、彼らの自立までの道のりの困難さを改めて感じた。いずれにしても 140 名を超える退所者へのアフターケアには多大なエネルギーを費やすざるを得ない状況が続いている。

ファミリーホーム「はなの家」は、30 年度を通しての平均入居者数は月当たり 5.0 人であった。年度内は入退居はなかった。年間を通して生活状況は安定していた。中学生が 1 名、高校生 4 名ということで、それぞれが様々な活動をしており、全員そろって食事を摂る機会が限られた。高校生には自立に備えてバイトをすることを奨励しているが、高校 1 年の 2 名は継続することが困難であった。また、宇都宮市のショートステイ事業や児相の一時委託保護で 9 名の子どもを短期間預かった。こうした地域の子育て支援については、問い合わせが増えてきており、ニーズへの対応を考えなければならない。

宇都宮市からの委託事業（要支援児童健全育成事業）の「月の家」であるが、20 名 15 世帯であり、前年度から増加傾向にある。母子や父子世帯、生活保護受給世帯の子どもが利用しているが、子ども達の状態も、障害や被虐待、グレ外、不登校と様々な問題を抱え、どの家庭も社会的養護を必要とする子ども達ばかりであった。一人当たり週 2 回の利用とし、1 回当たり約 6 名の利用があった。30 年 9 月に清原地区にもう一つの居場所ができた。月の家の利用は、東部と南部に偏っていたが、東部については担つてもらうことになりそうで、送迎の負担の緩和につながることを期待したい。

栃木県より平成 29、30 年度と 2 か年で「子どもの居場所担い手育成事業」を受託した。専門研修を 4 回計 115 名が参加した。ネットワーク会議（全体会）を 1 回実施した。参加は 43 名だった。また子どもの居場所の周知啓発のためにリーフレットを 6 千部作成した。さらに「子どもの連絡協議会」を設立し、本会が事務局を担った。連絡協議会は 3 回開催され、県内の子どもの居場所の実態調査を行った。

収益事業としてチャリティーコンサートと星の家まつりが実施された。チャリティーコンサートは倉沢大樹さんを中心にジャズコンサートを開催し、約 100 万円の純益を上げることができた。星の家まつりは初めて道の駅うつのみやろまんちく村で実施した、約 150 万円の純利益を上げることができた。会員拡大を含む社会的養護の問題の啓発活動として、総会後中央地区研修会を実施し約 50 名が参加した。また虐待防止ネットワークとの共催で「第 9 回子どもの虐待をなくそう県民のつどい」を開催した。プレ学習会（とちぎ青少年センター）には 61 名が参加し、本番のつどいはみやのわホールで開催され 147 名が参加した。さらに会報を 2 回発行した。

2 事業に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人 数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の金 額 (千円)
1. 青少年の自立 に関する相談 ・援助事業	とちぎユースアフ ターケア事業協同 組合の傘下で活動	年4回	とちぎユー スアフター ケア事業協 同組合	職員1名	社会的養護 の対象者	0
2. 自立援助 ホームの運営	自立援助ホーム 「星の家」の運営 (児童自立生活援助事業)	通年	星の家	職員3名 非常勤1名	社会的養護 の対象者	22,696
3. ファミリー ホームの運営	ファミリーホーム 「はなの家」の運営 (小規模居住型 児童養育事業)	通年	はなの家	職員2名 非常勤2名	社会的養護 の対象者	22,639
4. 居場所作り 事業	要支援児童健全育 成事業「月の家」の 運営	通年～	月の家	職員1名 非常勤2名 アルバイト9名 ボランティア10名	社会的養護 の対象者	13,473
	子どもの居場所担 い手育成事業	通年～	月の家・ とちぎ青少 年センター 栃木県庁	非常勤2名	居場所の 担い手を 育成・支援	1,500
5. 機関誌・会報 の発行	会報の発行	年2回 (8月・1月)	支える会	職員1名	会員及び 支援者 1100名	8
6. 会員拡大の ための事業	中央地区研修会	5月26日	とちぎ青少 年センター	職員4名 ボランティア 数名	県民参加者 50名	0
	②「子ども虐待をなく そう県民の集い」	11月18日	済生会宇都 宮病院「みや のわ」ホール	職員3名 非常勤2名 ボランティア 数十名	県民参加者 150名	0

(2) その他の事業（収益事業）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)
バザー	第21回星の家まつり	10月21日	道の駅 うつのみや ろまんちっ く村	職員8名 ボランティア 133名	322
チャリティー コンサート	第20回青少年の自立を 支える会コンサート	3月10日	宇都宮市文化 会館	職員9名 ボランティア 80名	1,012